

九月二十九日議会傍聴記 二名削減の根拠

自民党正和会大野聰議員は、景気が上向いたとはいえ、市政の厳しい財政運営、議員定数削減要望が多く、市民から寄せられている中、自発的に議員定数の削減を決意した。多摩二十六市中一人当たり人口数が最小であること、平成十八年から二十一年の行政改革大綱では、職員の八%削減を求めているのに合わせると、二名削減が適正。

新庁舎建設での議場経費削減にもなるをあげました。

公明党青海俊伯議員は、地方自治法二条に住民福祉の実現と行政効率（最小の経費で最大の効果）に応える目的で、議員自らの意思で削減を決意した。福生市は開かれた市政として、様々な取り組みを進めてきたので、二名議員を削

減しても十分市民のニーズに
応えられる。効果をみて、十
八議席、十六議席へ削減に踏
み切ることも、視野に置いて
今後議員削減を取り組む。
公明党羽場茂議員は、住民の
声、何とかしろと言う話を沢
山聞いている。議員削減の陳
情が出ないのは、言いにくい
から出ないだけだ。優秀な人
材を確保するため、他の仕事
をしなくても、議会活動に専
念出来る報酬確保が必要だか
ら、議員報酬一割カットは適
切でない。などの、意見を述
べていました。

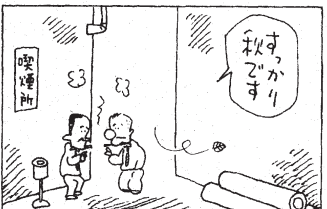
日本共産党の松山清議員は、
住民の声があると言うが、
重大な議員削減提案を行うに
当たって、客観的な資料、例
えば市民のアンケートを取る
ぐらいなげしなかったのか？
だれかが言っているだけで
は、説得力がない。

一部を解決したに過ぎない、
二名削減の議会で、行政に対
し、チェック機能を十分果た
せていけると、本当に言える
のか？と、質問をしました。
基本的には、まともな応え
は返ってきませんでした。

、こここそ正すべきもの。
二十二名の議会運営で、き
わめて不都合なことがあった
のか。八年前二名削減したの
は、西多摩衛生組合のゴミ処
分場をめぐる汚職事件に、議
員が絡んでいるなどがあった
からだ、この時に二十二名
が適切と賛成した議員四名
が、今回の議員定数削減賛成
者に含まれているが、この人
たちの考えはどうなのか？
三多摩二十六市中議員一人
当たり人口数が最小であるこ
とは、もっとも民意を得てい
る議会として、誇りにおもっ
考えはないのか？

市長と議会の関係では、市
長に十分なバックがある。
この八年間、中学校の昼食
対策、拝島駅、自由通路など
市長が解決したというが、本
来二十世紀中に解決すべき問
題を、先送りしていたものの

先に議員定数二名削減あり
き、公明党の青海議員が、私
も新庁舎建設での議場経費が
ペラポーなもので驚いている
と発言していました。そんな
いい加減な数字ですが、説明
出来ない与党議員の質の低さ
に憂いを持ち、議会を軽くし
か見ることの出来
ない人で
占められ
る議会に
なるとし
たら、大
変だと思
います。



2006.10.5 日刊赤旗掲載マンガの一角より

他の自治体もやっている
は、議会として主体性が無い
のではないのか？

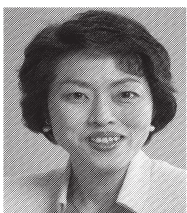
行政改革の八%とリンクさ
せること自体が誤り、次元の
違うもの、住民の声を直接抹
殺するもので、市政に届けに
くくすることになる。

報酬削減しないのは、優秀
な人材を確保するためと言っ
が、二名優秀でない議員とは
誰のことか？、報酬削減しな
かったら、政策論戦が出来る
優秀な議員が増える保証がど
こにあるのか？逆に政策論戦
がまともにも出来る議員が、排
除されてしまうのが現実では
ないか？

新庁舎建設での議場経費削
減にもなるというが、削減根
拠の一議員に机六十三万円、
イス十五万二千円など合わせ
て百六十万円自体が、とんで
もないペラポーな無駄遣いで

憲法二十五条生存権の否定

安倍晋三首相という、初の
戦後生まれの首相誕生、主張
の自身は十九世紀の「救貧制
度」のお粗末。「社会保障制度
は、本来日本人が持っている
助け合いの精神の延長上にあ
るもの」と二十九日の所信表
明演説で、「社会保障論」を披
露しました。《国は社会保障
制度から手をひきません。国民
は自己責任でやってください。
》では困ります



こ
も
智子

元参議院議員秘書
たむら
田村



憲法二十五条

「全て国民は、健
康で文化的な最
低限度の生活を
営む権利を有す
る」と明記してい
ます。これは社会
保証制度を国民
の生存権にもと
づくものとする
考え方です。この
考えに立って、2
項で、政府に社会
保障を向上させ
る責任を明確に
うたっています。



おくとみ喜一前市議会議員（右側奥書）
2006.9.27福生駅頭にて